

韓国国会議員の竹島上陸

平成30年10月
外務省

1 我が国の立場

竹島は、歴史的事実に照らしても、かつ国際法上も明らかに我が国固有の領土であり、韓国による竹島の占拠は不法占拠である。我が国は国際法にのっとり、冷静かつ平和的に紛争を解決する考え。

2 概要等

【報道の概要】（10月22日：連合ニュース）

22日、韓国国会教育委員会の国会議員十数名が、国政監査（注：韓国国会の各委員会による政府機関の活動へのチェック）の一環として、「独島（ママ、以下同じ）」を訪問。イ・チャンヨル同委員会委員長は、「日本の歴史教科書歪曲を糾弾し、正しい歴史認識を高めるために、独島訪問を計画した」と説明。

【我が国の対応】

我が国による事前の抗議・中止の申入れにもかかわらず、上陸が強行されたことは到底受け入れることはできず、極めて遺憾。

10月22日、以下のとおりそれぞれ嚴重に抗議。

- ◆東京 金杉外務省アジア大洋州局長⇒金敬翰（キム・ギョンハン）在京韓国大使館次席公使
- ◆ソウル 水嶋在韓国大次席公使⇒金容吉（キム・ヨンギル）外交部東北アジア局長

※（事前の抗議状況）

10月19日

- ◆東京 田村外務省アジア大洋州局参事官⇒李湖植（イ・ホク）在京韓国大使館公使参事官
長尾外務省北東アジア第一課長⇒呉盛鐸（オ・ソンタク）在京韓国大使館参事官

10月18日

- ◆ソウル 村上在韓国大参事官⇒李漢相（イ・ハンサン）外交部東北アジア1課長

10月10日

- ◆東京 長尾外務省北東アジア第一課長⇒呉盛鐸（オ・ソンタク）在京韓国大使館参事官
- ◆ソウル 水嶋在韓国大次席公使⇒金容吉（キム・ヨンギル）外交部東北アジア局長
- ◆その他 田村外務省アジア大洋州局参事官⇒崔鳳圭（チ・ボンギユ）外交部東北アジア局審議官（於：北京）

3 国会議員団の行動の概要

【参加行事等】

- 教育部及び東北アジア歴史財団からのブリーフィング。（於：ソウル）
（ソウルから鬱陵島までヘリで移動。）
- 10:00 「独島」博物館を訪問。
- 11:30 鬱陵郡庁において、金秉洙(김·병·순)鬱陵島郡守からのブリーフィング。
（鬱陵島から竹島までヘリで移動）
- 14:00頃、竹島に上陸、「独島警備隊」激励等を実施。
（竹島からソウルまでヘリで移動。）

【上陸経路】

- ソウル～鬱陵島～竹島～ソウル。

【上陸手段】

- ソウル地方警察庁航空隊のヘリコプター（Mi-172）。

（※以上は、韓国国内の報道をまとめたもの。）

【参考】Mi-172の性能（出典：ウェブサイト「RUSSIAN HELICOPTERS」）

（用途）多目的ヘリコプター

（巡航速度）260km/h

（航続距離）800km

（搭載可能人員）24名

4 最近の韓国政府・国会関係者等（肩書きは当時）による竹島上陸の状況

◆ 2012年

- 8月10日 李明博（イ・ミョンバク）大統領
- 8月19日 孟亨奎（ムン・ヒョンギ）行政安全部長官，李秉錫（イ・ビョンソク）国会副議長他
- 10月23日 劉承ミン（ユ・スンミン）韓国国会国防委員長，他国防委員計14名

◆ 2013年

- 6月5日 韓善教（ハン・ソンギョ）セヌリ党議員
- 8月13日 金ハンギル（キム・ハンギル）民主党代表，他民主党議員計20人
- 8月14日 金乙東（キム・ウルドン）セヌリ党議員

◆ 2014年

- 1月29日 金寛容（キム・グァンヨン）慶尚北道知事

◆ 2016年

- 7月25日 文在寅（ムン・ジェイン）「共に民主党」前代表（非議員）
- 8月15日 羅卿ウォン（ナ・ギョングワン）セヌリ党議員率いる「国会独島訪問団」計10人

◆ 2017年

- 1月25日 金寛容（キム・グァンヨン）慶尚北道知事

◆ 2018年

- 5月23日 沈載権（シム・ジェグワン）共に民主党議員

これらの上陸に対し，我が国から直ちに嚴重な抗議を実施。